

臨床福祉専門学校
理学療法学科（夜間部）平成 27 年度 第二回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成 28 年 2 月 23 日（火） 18：35～19：15

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

中村 岳雪（東京都理学療法士協会 理事）

下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）

水落 太郎（松井病院 リハビリテーション科主任）

石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科学科長）

吉葉 則和（臨床福祉専門学校 理学療法学科副学科長）

萬崎 保志（臨床福祉専門学校 事務部長）

樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務課 主任）

1. 基礎教育の向上と国家試験対策の充実の為のカリキュラム変更について（報告）

石垣：前回の本委員会より下記の事を学科内で精査している。その進捗状況の報告

（基礎教育）

既存のカリキュラムである基礎理学療法学を分割し、生物・科学・物理の 3 科目を計 6 コマ行う。科目担当者として塾の講師を手配予定。その他本校所属の臨床心理師とのつながりを持たせる事を課程として取り組む予定。

（国家試験対策）

夜間部 2 年・3 年の課程で行う。夜間部 2 年時には主に解剖学・生理学・運動学の国家試験過去問題を取りまとめる作業を行い、オリジナルの参考書を作成する。夜間部 3 年時では上記に加えて、専門分野の取りまとめも行う。最終学年時の既存の国家試験対策で過去 2 年かけて分析した中身を実践する事を目的とする。

平成 28 年度は上記内容をプレで行い、平成 29 年度より正式に単位化する予定

2. 意見交換

中村：基礎教育について、入学してくる学生は生活面から性格まで様々であり、それに対応できるプログラムであると思う

水落：基礎学力について、生物・科学・物理の 3 科目が中心であるが、それらの科目に対する現在の学生のレベルは？

石垣：基礎から何もわからない学生が多数

水落：そもそも生物・科学・物理は高校でもやらないパターンもあり、仕方ない点もある。

石垣：中学レベルでないと対応できない。本当の基礎から見直す必要がある。

下河辺：そのレベルであるならば、塾の講師というのは一番理にかなっている。

水落：塾の講師であれば出来の悪い学生の対応もうまいので、問題ないと思う。

石垣：カリキュラム変更の意図として、さらに詳細を検討し、平成 28 年度
実験的に行う。

⇒上記の件に対して委員了承

以上